

「腹腔鏡下大腸切除術における術中 ICG 蛍光法の有用性の検討に関する研究」

1. 研究の対象

当センターにおいて大腸癌と診断され 2015 年 1 月 1 日から 2019 年 7 月 31 日までの間に当科にて腹腔鏡下大腸切除手術をした患者さん

2. 研究目的・方法

本研究は、当センターにおいて手術を受けた患者さんの情報から ICG（インドシアニングリーン*）蛍光法使用による腸管切離ラインの変更率と ICG 蛍光法用前後での術後縫合不全の発生率を調査することを目的としている。

*インドシアニンググリーンとはインドシアニンググリーンという薬剤を手術中に静脈内に投与（注射）して、血流を蛍光で確認できる特殊な腹腔鏡装置（近赤外光内視鏡システム）を用いる検査のこと。

方法：当科において対象患者さんの臨床情報を集積し、調査及び検討する。

研究期間：承認後 ～ 2024 年 8 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

使用する情報：診断名、年齢、性別、既往歴、身体所見、治療内容、腹部手術歴、占拠部位、組織型、深達度、リンパ節転移、遠隔転移等の病理診断結果、手術時間、出血量、術後合併症、術後在院期間 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター消化器外科

研究責任者：診療主任 西沢 佑次郎 分担医師：小森 孝道 井上 彬

電話 06-6692-1201(代表) FAX 06-6606-7032